

平成30年度第1回海津市総合教育会議議事録

1 日 時 平成30年8月7日（火）午後4時から午後5時

2 場 所 海津総合福祉会館「ひまわり」2階 研修室2

3 出席者の氏名

海津市長	松永清彦
海津市教育委員会教育長	中野 昇
海津市教育委員会教育長職務代理者	伊藤亮一
海津市教育委員会教育委員	森 圭子
海津市教育委員会教育委員	大橋 利
海津市教育委員会教育委員	大津由佳

4 調査、説明等のために出席した者の氏名

総務部長	中島哲之
総務部総務課長	近藤康成
総務部企画財政課長	近藤三喜夫
教育委員会事務局事務局長	伊藤一人
教育委員会事務局教育総務課長	大橋隆幸
教育委員会事務局学校給食センター所長	金森健吉
教育委員会事務局学校教育課長	日比光治
教育委員会事務局こども課長	渡辺昌代
教育委員会事務局社会教育課長	大倉光好
教育委員会事務局図書館長兼歴史民俗資料館長	伊藤 明
教育委員会事務局スポーツ課長	日比佳克
書 記：教育委員会事務局教育総務課	池戸ゆり

5 傍聴者

な し

6 協議事項

- (1) 小中学校の適正規模等に関する検討委員会の検討状況について
- (2) 教育振興基本計画の策定（案）について
- (3) 市内小中学校のいじめの現状について

発言者	発言内容
大橋教育総務課長	<p>本日は大変お忙しいところ、平成30年度第1回海津市総合教育会議にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。</p> <p>この会議は、市長と教育委員会の意思の疎通を図り、本市の教育に係る課題やあるべき姿を共有し、連携して本市の教育行政に取り組むために開催するものです。よろしくお願いいたします。</p> <p>はじめに、松永市長よりごあいさつを申し上げます。</p>
松永市長	<p>皆さん、こんにちは。大変暑い日が続いておりますけれど、日本各地で災害が起きている。そんな状況の中、幸いにも子どもたちは伸び伸びと生活しながら成長していく習性ということで、皆様方にはいろいろご指導いただいていることに感謝を申し上げます。</p> <p>ただ、残念ながら少子高齢化の波は海津市に押し寄せて来ているわけですが、どのような形で対応していくのか課題となっております。</p> <p>今日は、3つの協議事項を上げておりますのでよろしくお願いいたします。</p>
大橋教育総務課長	<p>本日の出席者については、机上に名簿を配付させていただいておりますので、名簿をもって紹介に代えさせていただきます。スポーツ課高校総体担当課長については、本日欠席となっております。</p> <p>それでは議題に移らせていただきます。これより先の進行は、市長が議長を行いますのでよろしくお願いいたします。</p>
松永市長	<p>はじめに、議題（1）小中学校の適正規模等に関する検討委員会の検討状況について説明を求めます。</p>
大橋教育総務課長	<p>昨年度、2回の検討委員会を開催し、「市の学校規模の現状について」「複式学級の現状と課題について」等、議題として開催しました。</p> <p>今年度については、適正規模に関するアンケートを実施し、関係者の意識を把握していくということで、第1回の検討委員会におきましては、アンケートに向けての事務局案として平成29年7月31日付けの園・小中学校の適正配置に関わる教育委員会の考え方にある、適正配置について検討していく場合、市内3町の6年後までの状況から現時点では、海津町内の小学校のあり方に当面は視点を当てていくという考え方から、アンケートについても海津町内の保護者、教員、認定こども園の保護者等900名にアンケートを実施したいという案を出しました。</p> <p>しかし、今回の検討委員会では、海津市内の年齢別一覧の下多度小学校において、0歳から2歳は、5人から8人の一桁台であるので、どう</p>

発言者	発言内容
	<p>していくのかという意見もあり、海津町だけのアンケートにすると早合点の懸念もあることから市内全部に実施したほうがよいという結論に至りました。</p> <p>資料1のアンケート調査についてですが、調査対象者を市内全域とし、市内小学校の全ての保護者、市内小学校教職員、市内認定こども園の保護者と保育教諭、地域代表者として①市内自治会長②海津市民生児童委員③海津市青少年推進員④海津市スポーツ少年団指導者、市内小学校の高学年（4～6年生）を対象とし、約3,600名にアンケートを実施するものです。</p> <p>実施方法については、児童、教職員、保護者は学校や認定こども園を通じてアンケートを配布し回収をお願いすることとし、地域代表については、アンケート調査を郵送にて配布し回収も郵送とするものです。</p> <p>実施時期については、10月中旬から11月上旬を予定しております。</p> <p>今後の予定については、11月上旬にアンケートの回収を行い、12月下旬にアンケート結果の集計を行い、翌年1月下旬に第6回検討委員会にアンケート結果の報告をし、アンケート実施に基づく課題や方針の検討を検討していただく予定でございます。</p>
松永市長	<p>それでは、ご意見を伺います。</p> <p>アンケート内容については、皆さんご存知ですか。</p>
大橋教育総務課長	<p>8月10日に検討委員会が開催されるので、そこで内容の確認をして進めていく予定です。</p>
伊藤教育委員	<p>アンケートの調査対象者に小学校教職員も含まれているが如何なものでしょうか。</p>
大橋教育総務課長	<p>先生方に学校の状況を把握していただいているということと、指導する立場としてどのような思いがあるかを知るために、対象者に入れました。勿論、無記名でございます。</p>
中野教育長	<p>検討委員会の目的は、児童生徒にとって一番望ましい適正配置を検討しているわけであり、日々子供たちの指導に当たっている教職員はいろんな学校を渡り歩く経験をし、子どもたちにとってどういった学習形態や指導方法が効果的なのか身を持って知っている。そういった面から子供たちにとって望ましい適正配置について意見を求める思いと、働き方改革について、教職員にとって小規模校・中規模校・大規模校それぞれ</p>

発言者	発言内容
	の勤務上の負担はどうかという思いから教職員の意見も取り入れることも大事ではないかと思う。
伊藤教育委員	わかりました。
森教育委員	学校や認定こども園を通じてアンケートを配布するという事なので回収率が高いと思われる。地域代表については郵送になるので少しでも回収率が高くなるようご理解とご協力をいただきお願いしてください。
大津教育委員	アンケート内容について、対象者毎に違うのですか。
大橋教育総務課長	質問事項は統一した部分もありますが、対象者によって少し聞き方を変える方向で進めています。
松永市長	他にご意見ありませんか。
全委員	ありません。
松永市長	ないようですので、議題（２）教育振興基本計画の策定（案）について説明を求めます。
大橋教育総務課長	<p>教育振興計画は、教育基本法第17条第2項の規定に基づく本市の教育振興のための施策に関する基本的な計画であり、平成26年3月に今後5年間を通じて目指す教育の姿として、「いのちをつなぐ教育」を基本理念に掲げ、さまざまな教育施策を展開してきております。</p> <p>この教育振興計画が平成31年度までですので、第2期の振興計画策定に向けて昨年度から海津市教育振興基本計画策定委員会を開催し、昨年度はアンケート調査を実施、今年度最初の策定委員会では計画案を検討していただいている状況であります。</p> <p>資料2については、現在策定委員会で検討していただいている基本理念・目標でございます。</p> <p>基本理念については、引き続き「いのちをつなぐを教育」を継承し、「心豊かな一人一人が共に生きる喜びを感じる教育」を副題とし、基本目標6項目、施策20施策として展開していく案でございます。</p> <p>この20施策の下に具体的に新たな施策として、一つ目、基本目標2の「良好な学校教育環境の整備・充実」の施策1「学校教育の充実」については、思考力・判断力・表現力等を育成する指導や取り組みの充実ということで、各教科等において記録・説明・要約・論述等の言語活動を取り入れ、言語の力を高めるための学習を充実させる。タブレットや電子黒板等の情報機器の活用やさまざまな授業形態の工夫など授業改</p>

発言者	発言内容
	<p>善に努める。</p> <p>施策2「教育環境の整備・充実」については、ICTを活用した効果的な授業の実現及び教職員の業務負担軽減等ICTの活用や整備を推進する。</p> <p>施策5「学校給食の充実及び食育の推進」については、教職員の事務負担の軽減に向け給食費の公会計事務化の調査研究を進める。</p> <p>二つ目、基本目標5の「文化の振興」の施策2「豊かな自然と文化財愛護思想の普及・啓発」については、歴史民俗資料館の運営・充実ということで、企画展の増加やリニューアルを検討し入館者の増加につながるよう調査研究を進める。</p> <p>三つ目、基本目標6の「スポーツ活動の振興」の施策2「スポーツ施設・備品の充実」については、社会体育施設の計画的な統廃合を進め、施設の長寿化とグラウンドゴルフ場の拡充を図る。学校体育施設の有効活用を進める等振興計画に盛り込むこととしております。</p> <p>今後、策定委員会で計画案を承認いただきましたらパブリックコメントを実施し、今年度末には海津市教育振興計画として策定する予定であります。</p> <p>また、教育振興計画は、地方行政の組織及び運営に関する法律第1条の3による「教育、学術及び文化の振興に関する総合的な施策の大綱」と位置づけていきたいと考えております。</p>
伊藤教育委員	この計画は何年計画ですか。
大橋教育総務課長	5年計画です。
松永市長	他にご意見ありませんか。
全委員	ありません。
松永市長	ないようですので、(3)市内小中学校のいじめの現状について説明を求めます。
日比学校教育課長	<p>平成25年にいじめ防止対策推進法が成立し、海津市も「いじめ防止等のための基本方針」を策定し運用しております。その後、平成29年に国も基本方針を改定、また重大事態の調査に関するガイドラインの策定等をしているところです。</p> <p>こうしたことを受け、海津市の総合教育会議の議題としていじめの現状について情報を提供させていただきます。</p> <p>資料3の3頁目13番 平成29年度問題行動調査におけるいじめ</p>

発言者	発言内容
	<p>の認知件数は、小中学校合わせて178件でした。この内解消しているものが66件、解消に向けて取り組み中が112件でした。その後の追跡調査では、取り組み中だったものの内解消しているものが104件、解消に向けて取り組み中が2件となっております。</p> <p>1頁に戻っていただき、この資料は平成30年4月1日から平成30年7月31日現在の個人結果の集計となります。</p> <p>1の(1)いじめの認知件数ですが、小中学校合わせて224件となっており、昨年度通年よりも多くなっています。近年、文部科学省はこうした認知件数が多いことを肯定的に捉える立場をとっています。また、総務省も平成29年3月に文部科学省に対して認知の見落としがなにか是正の勧告をしていて、学校においても見落としがなにか、より丁寧呼びかけをしている結果がこのように増えているということです。</p> <p>(3)の警察に相談・通報した件数は0件でした。</p> <p>(4)月別いじめ認知件数は、1学期の6・7月後半に向けてやや増加しているところです。</p> <p>2の(1)いじめの現在の状況について、先ほどの224件の内解消しているものが17件、解消に向けて取り組み中が207件です。</p> <p>3番のいじめの発見のきっかけですが、学校の教職員等が発見するものでは、やはり担任が発見すること、アンケート調査など学校の取組により発見が多くなっています。学校の教職員以外からの情報では、本人からの訴え、保護者からの訴え、周囲の児童生徒からの情報が多くなっております。</p> <p>4番のいじめられた児童生徒の相談の状況については、小学校の学級担任に相談したが大変多く、担任の役割が重要だと思います。誰にも相談していない42件が課題ではあります。</p> <p>5番のいじめの態様については、多いものから冷やかしかからかい、悪口や脅し文句、嫌なことを言われる。軽くぶつかられたり、遊ぶふりをしてたたかれたり、蹴られたりする。嫌なことや恥ずかしいこと、危険なことをされたりするとなっております。</p> <p>6番のいじめる児童生徒への特別な対応では、多いものとしていじめられた児童生徒やその保護者に対する謝罪の指導、保護者への報告となっております。</p> <p>8番のいじめられた児童生徒への特別な対応では、スクールカウンセ</p>

発言者	発言内容
	<p>ラー等の相談員が継続的にカウンセリングを行ったり、学級担任や他の教職員等が家庭訪問を実施したり見届けています。</p> <p>9番のいじめの日常的な実態把握のため行った方法では、アンケート調査を実施している学校が13校、実施頻度は、年4回以上の学校がほとんどで、実施方法が記名式、無記名式、記名・無記名の選択式を取り入れています。回答方法は、選択式で学校で記入するものもあれば記述式で学校で記入するもの、中には持ち帰って記入する形を取っている学校もあります。</p> <p>10番のいじめの問題に対する日常の取組については、すべての学校がすべての項目に取り組んでいます。これらはいじめ防止対策推進法でも取組むべき基本的施策の中に挙げられています。</p> <p>11番の学校いじめ防止基本方針の策定及び「いじめ未然防止・対策委員会」の設置による取組状況の把握については、掲載してある方法をすべての学校が取り入れています。</p> <p>以上でございます。</p>
伊藤教育委員	<p>いじめの発見のきっかけについて、学級担任が発見したということで、小学校について多くの件数が挙がっているので先生方の目配りが行き届いていると思えました。</p>
森教育委員	<p>小学校では学級担任が発見したケースが多いので、いじめと言ってもさほど重大なものでもないものの、中学生になるとアンケート調査による発見など学校の取組により発見したケースが多く、誰にも相談してないが38件あり、辛い状況の子たちもいるのだと感じました。先生方も大変だとは思いますが、様子がおかしいとか元気がないと思われたら声掛けをしていただく必要もあるのかと思えました。</p>
大橋教育委員	<p>今年の4月1日から7月31日までのいじめの認知件数が224件で、昨年が通年で178件ということで、「増えていることは文部科学省も肯定的に捉えている」と日比課長さんが話されたが、これはいいことだと思う。認知として認めたものが増えているということで、潜在的にあったものが今まで認められなかったのもたくさんある。</p> <p>公にされるということは非常にいいことだと思えました。</p>
中野教育長	<p>小さな芽から見落とさずに芽をつぶしていこうという指導をしています。</p>

発言者	発言内容
松永市長	他にご意見はありませんか。
全委員	ありません。
松永市長	3 その他は何かありますか。
全委員	ありません。
松永市長	ないようですので、これで3件についての協議事項を終了します。事務局に返します。
大橋教育総務課長	これをもちまして、第1回総合教育会議を終了します。本日はありがとうございました。

閉会 午後5：00